沖縄県立博物館・美術館，博物館紀要（Bull. Mus., Okinawa Pref. Mus. Art Mus.），№ 4, pp. 101－114, 2011

博物館常設展示における展示項目は入場者に見られているか？

濱口寿夫[1)]

Do visitors pay enough attention to the exhibits in the permanent exhibition of Okinawa Prefectural Museum?

Hisao HAMAGUCHI[1)]

はじめに

博物館の展示を新たに構築するに当たっては、関係職員は知恵を絞り、相当な時間と労力を投入して、その時点における知見や時間・予算等の制約の中で最善のものを目指している。このことは、経験的にも自明であろうし、各館の新設あるいは展示更新に関する数多くの報告に記載されている（長澤、1987; 船木、2004；阿部ら、2005；二階堂ら、2008など）。しかし、展示は設置して終わりというものではなく、その後も改善に係る継続的な努力を必要とするものである（長澤、1987；一瀬、1997）。それを怠れば、展示はその内容や手法等が時間とともに古くなり、ついには価値を失うことにもなりかねない（井出口、1998）。展示というものが、資料や解説をとおして学芸員の持っている知識や学問的感動を観覧者に伝えようとするものであるなら、資料・解説の継続的な検討とともに受け手である観覧者の反応に係る研究は非常に重要である（三木、1999；竹内、2004）。

沖縄県立博物館・美術館の常設展示は2007年に館自体が那覇市首里から現在の那覇市おもろまちに移動したことに伴い全面的に更新された。この常設展示において、我々学芸員は入場者によく見られている展示項目とそうでないものがあることを認識している。しかし、それは常設展示室で偶々入場者の様子を見たときに得た断片的な情報の集積による感覚的なものであり、定量的な調査に基づくものではない。今後展示の改善を検討するためには根拠のある資料が必要であるため、2009年度より常設展示入場者の行動に係る調査を実施している（濱口、2010）。昨年度の調査においても、展示項目の観覧状況に係る若干の結果を得たところであるが、その主な目的は入場者の移動経路を把握することであったためデータの取り方に不徹底の部分があった。今年度はその部分を改めた上で、それぞれの展示項目が入場者によって観覧された回数と時間長を中心に調査を行った。

調査方法

展示項目（以下「項目」）の単位は、常設展の「大テーマ」「中テーマ」「小テーマ」のうちの小テーマを基本としている。大テーマ、中テーマの区分については、昨年度調査と同じであるが、項目については、部分的な展示替えや区分の再検討によりさらに細分化されたものがあるため、若干変わっている（表１）。項目には1から170まで項目番号を付した。常設展示室は、中央に位置する総合展示室とその周囲に配置された５つの部門展示室から構成されている。その内容や壁ケース、ステージ展示の配置等については濱口（2010）を参照されたい。

本調査では、入場者を常設展示室に入ってから出るまで追跡し、入退出の時刻、性別、年齢を記録するとともに、観覧した項目とその際の滞留時間を秒単位で記録した。年齢については10才刻みの推定である。この調査において「観覧」とは、その項目の前で立ち止まった場合をそう見なしており、移動を止めなかった場合は含んでいない。昨年度は、観察者に対し「展示項目の前で停止した場合について観覧とみなしてデータを取る」よう指示していたが、今年度は「…1秒以上停止していたもの…」と改めた。

１人の入場者が、同一の項目を複数回観覧した場合、それぞれの観覧を独立に扱い、滞留時間を測定した。したがって、項目の被観覧数はのべ観覧者数に等しく、観覧者の実人数よりも大きい場合がある。

データの採取は、2010年度の学芸員実習の一環として実習生たちが行った。学芸員実習は前期（6月21日から7月2日）と後期（8月16日から8月27日）に分かれており、それぞれ実習生の人数は9名と13名である。前期と後期の合計で108人の入場者についてデータを採取した。

[1)] 沖縄県立博物館・美術館　〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum, 3-1-1, Omoromachi, Naha, Okinawa 900-0006 Japan.

表1. 展示項目

部門	大テーマ	中テーマ	項目番号	展示項目
総合	0・ニライカナイの彼方から	0.プロローグ	1	サンゴ礁及び海岸のジオラマ（床下・壁）
			2	サンゴの骨格（壁ケース）
	0・シマの自然とくらし	1.沖縄の島々	3	琉球列島地形模型（床；押しボタン・タッチパネル操作なしで観覧した場合）
			4	琉球列島地形模型（「地形模型を見る」）； 地形模型への投影映像（押しボタンによるコンテンツ選択）
			5	琉球列島地形模型（「地形模型を見る」）； 画像等「シマの自然とくらし」（タッチパネル6台）
	1・海で結ばれた人々	1.化石が語る沖縄	6	化石、琉球石灰岩、映像（大型円筒形スクリーン；自動再生）
		2.先史時代のくらしと姿	7	(1)「古我知原貝塚の世界」；住居集落模型「古我知原貝塚のくらし」（ステージ展示）
			8	(1)「古我知原貝塚の世界」；土器、石器等出土資料、食料復元模型（壁ケース）
		3.島々を行き交う人とモノ	9	(1)「北との交流」、(2)「南との交流」、(3)「海をこえて」； 貝輪、貝斧、貝匙等（壁ケース）
			10	(1)(2)(3)映像「島々を行き交う人とモノ」（タッチパネル）
	2・貝塚のムラから琉球王国へ	1.島々に見られるグスク	11	(1)「さまざまなグスク」、(2)「グスク遺物に見る交流」、(3)「三山の抗争」 (4)「王城としての首里城」（壁ケース）
			12	(1)「さまざまなグスク」；座喜味城跡等模型（ステージ展示）
			13	(1)画像等「島々のグスク」(タッチパネル)
			14	(2)「グスク遺物に見る交流」；浦添ようどれ石棺（ステージ展示）
			15	(3)映像「浦添の王たち」「三山の朝貢と琉球統一」「三山の成立」(タッチパネル)
			16	(4)映像「首里城とその周辺」（タッチパネル）
	3・王国の繁栄	1.統一王朝の時代	17	(1)「繁栄への布石　第一尚氏」、(2)「王統の交代　第二尚氏」 (3)「冊封と進貢」（壁ケース）
			18	(2)画像等「歴代国王の御後絵」（タッチパネル）
			19	(3)画像等「冊封使行列」（タッチパネル）
			20	(3)「冊封と進貢」；進貢船模型、旧首里城正殿鐘（ステージ展示）
			21	(3)画像等「進貢貿易」（タッチパネル）
			22	(3)「冊封と進貢」；琉球人墓碑、奉使琉球図（ステージ展示）
			23	(3)画像等「奉使琉球図」（タッチパネル）
			24	(4)「アジアとの貿易」、(5)「王府による島々の統治」 (6)「神女制度のしくみ」（壁ケース）
			25	(5)映像「護佐丸・阿麻和利の乱」「宮古・八重山諸島のすがた」（タッチパネル）
			26	(6)「神女制度のしくみ」；「伊平屋の阿母加那志正装」；人形（ステージ展示）
			27	(6)「オモロの世界」；『おもろさうし』（複製）（ステージ展示）
			28	(6)画像等「『おもろさうし』の世界」（タッチパネル）
		2.古琉球の文化	29	(1)「古琉球の歴史的文物」；石碑、勾欄羽目、梵鐘（ステージ展示）
			30	(1)画像等「那覇・首里の変遷」（タッチパネル）
			31	(1)「古琉球の歴史的文物」；「王都の整備と円覚寺」； 円覚寺仏間羽目、写真（ステージ展示）

部門	大テーマ	中テーマ	項目番号	展示項目
総合	4.薩摩の琉球支配と王国	1.薩摩の支配と琉球使節	32	(1)「薩摩による侵攻と琉球支配」、(3)「北京への琉球使節」；古文書、絵画（壁ケース）
			33	(1)映像「薩摩による琉球侵攻」（タッチパネル）
			34	(2)「江戸への琉球使節」；行列図、江戸上り年表（ステージ展示）
			35	(2)画像等「江戸上り」（タッチパネル）
		2.近世琉球の文化	36	(1)「唐・大和の御取合」；程順則の肖像画、琉球楽器（壁ケース）
			37	(1)映像「江戸から見た琉球」（タッチパネル）
			38	(1)映像「組踊と狂言」、「三線の響き」（タッチパネル）
			39	(2)「近世琉球の歴史的文物」；染織品、御書院の解説、位牌（ステージ展示）
		3.王府と民衆	40	(1)「王府の政策」；「役人の正装」、「士族のたしなみ」；役人の人形3体、簪（ステージ展示）
			41	(1)「王府の政策」；家譜、中山王府の印、『中山世譜』（壁ケース）
			42	(1)画像等「絵地図が語る近世」（タッチパネル）
			43	(1)映像「改革の時代　羽地朝秀と蔡温」（タッチパネル）
			44	(2)「民衆のくらし」；貢納布制作風景の模型、ワラザン、古文書（ステージ展示）
			45	(2)画像等「奄美のくらし」、「八重山のくらし」（タッチパネル）
			46	(3)「交易と産業」；砂糖小屋と製糖風景の模型、マーラン船模型（ステージ展示）
			47	(3)映像「昆布」、「黒糖とウコン」（タッチパネル）
	5.王国の衰亡	1.王国の末期	48	(1)「王国の疲弊」、(2)「列強の接近と東アジア」；『球陽』、ペッテルハイム使用の印（壁ケース）
			49	(1)画像等「災害と困窮する人々」（タッチパネル）
			50	(2)「ペリー提督の琉球踏査」、「護国寺の鐘（大安禅寺鐘）」（ステージ展示）
			51	(2)映像「ペリーが見た琉球」、「異国人のあしあと」（タッチパネル）
	6.沖縄の近代	1.近代のはじまり	52	(1)「明治政府による琉球処分」；琉球処分の決裁文書、『琉球事件』（壁ケース）
			53	(1)画像等「琉球処分」（タッチパネル）
		2.沖縄県の形成	54	(1)「琉球から沖縄へ」、(3)「『沖縄学』の成立」；文書、方言札（壁ケース）
			55	(1)「琉球から沖縄へ」；軽便鉄道模型、映像「整備される交通網」（ステージ展示；モニター；押しボタンで開始）
			56	(1)画像等「交通網の広がりと交通機関の発達」「近代の沖縄を歩く」（タッチパネル）
			57	(2)「『ソテツ地獄』と移民」；泡盛壺、銀製三線（ステージ展示）
			58	(2)画像等「海を渡るウチナーンチュ」（タッチパネル）
		3.日清戦争からアジア太平洋戦争	59	(1)「忍び寄る戦争」；日の丸寄せ書き、戦時国債（壁ケース）
			60	(1)映像「沖縄戦」（タッチパネル）
			61	(2)「沖縄戦　失われた文化財」；大龍柱、「致和」扁額、弾痕のある厨子甕（ステージ展示）
	7.戦後の沖縄	1.変貌する沖縄	62	(1)「ゼロからの出発」；うるま新報、廃品を利用した生活用具（ステージ展示）
			63	(1)「ゼロからの出発」；映像「収容所生活の写真映像」（モニター）、音声「屋嘉節」
			64	(2)「基地と復興」；沖縄民政府看板、沖縄群島政府の印（壁ケース）
			65	(2)画像等「アメリカ統治と住民の反応」（タッチパネル）
			66	(2)「基地と復興」；「アメリカ統治下のオキナワ」；Aサイン証、琉球切手レコード、（引出し式展示・ステージ展示）
			67	(2)「アメリカ統治下のオキナワ」；映像「沖縄の戦後教育」、「文化財の復興」「博物館の歩み」（タッチパネル）
			68	(3)「『復帰』への道のり」；年表、ポスター、チラシ（ステージ展示）
			69	(4)「新生沖縄県」；復帰記念メダル、沖縄県庁扁額、若夏国体冊子、砲弾（壁ケース）
			70	(4)画像等「米軍基地と事件事故」、「新たな沖縄県の誕生」（タッチパネル）
			71	(4)「新生沖縄県」；「さまざまな沖縄」；世界のウチナーンチュ大会関連資料（ステージ展示）
	8.沖縄の今	1.エピローグ　沖縄の実像	72	(1)「沖縄の現代生活」；写真（壁）
			73	(1)画像等「写真検索」（タッチパネル）
			74	(2)「島々の自然と環境」；映像「変わりゆく島々の自然」（自動再生モニター）

部門	大テーマ	中テーマ	項目番号	展示項目
自然史	生物が語る沖縄2億年	1.島々の成り立ちと生物相の形成	75	(1)「地層と化石」；地質年表、地質図、化石、沖縄の岩石
			76	(1)「地層と化石」；地史図、岩石
			77	(1)画像等「花粉化石」（タッチパネル）
			78	(1)「地層と化石」；「琉球列島にみられる石灰岩地形」「琉球石灰岩の中の化石」；海岸地形の模型、シカ化石
			79	(1)映像「琉球石灰岩になった海の生き物たち」（自動再生モニター）
			80	(2)「亜熱帯林の生物群集」；ヤンバルの森（昼）ジオラマ
			81	(2)画像等「沖縄島北部の動植物」（タッチパネル）
			82	(2)映像「鳥類の生態」（自動再生モニター）
			83	(2)「亜熱帯林の生物群集」；ヤンバルの森（夜）ジオラマ
			84	(2)映像「ヤンバルオオフトミミズ」（タッチパネル）
			85	(2)映像「イモリ・カエルの繁殖生態」（タッチパネル）
			86	(2)「亜熱帯林の生物群集」；「島嶼性」；イリオモテヤマネコ等剥製、複製
			87	(2)「亜熱帯林の生物群集」；「多様性」；ほ乳類、鳥類、は虫類両生類、魚類、甲殻類、昆虫の標本、複製
			88	(2)「亜熱帯林の生物群集」；宮古島の森ジオラマ
			89	(2)画像等「宮古島の動植物」（タッチパネル）
			90	(2)「亜熱帯林の生物群集」；西表島の森ジオラマ
			91	(2)画像等「西表島の動植物」（タッチパネル）
			92	(2)「亜熱帯林の生物群集」；オオシロアリタケ模型
			93	(2)「亜熱帯林の生物群集」；アイフィンガーガエル生態模型
			94	(2)「亜熱帯林の生物群集」；マングローブのジオラマ
			95	(2)映像「マングローブに生きる」（タッチパネル）
			96	(2)画像等「マングローブの動植物」（タッチパネル）
			97	(3)「地理的分布と種分化」；ハマボッス模型、昆虫標本
			98	(3)画像等「固有および分布北限・南限の動植物」（タッチパネル）
			99	(3)「地理的分布と種分化」；「ハブ類の分布と種分化」、「クロイワトカゲモドキの分布」
			100	(3)「地理的分布と種分化」；キノボリトカゲ生態ジオラマ
			101	(3)映像「オキナワキノボリトカゲの社会行動」（タッチパネル）
			102	(3)「地理的分布と種分化」；アカヒゲ生態ジオラマ
			103	(4)「ヒトの登場」；「人類の進化」；港川人復元模型等
			104	(4)「ヒトの登場」；「港川人の体つき」；等身大骨格パネル
			105	(4)「ヒトの登場」；「港川人の発見」、「沖縄の人類化石」；港川人骨複製、人類化石
		2.生物の移動	106	(1)「海流、動物、風などを利用した生物移動」；「動物による植物の移動」
			107	(1)「海流、動物、風などを利用した生物移動」；「海流による動物の移動」「風による植物の移動」
			108	(2)「地球的規模の動物の移動」；「アカウミガメの移動」；剥製
			109	(2)「地球的規模の動物の移動」；鳥類、アサギマダラ標本
			110	(3)「島内における動物の移動」；「陸を移動する動物」「河川を移動する動物」；ヤシガニ、モクズガニ剥製
			111	(3)映像「オカガニの一斉放幼」（自動再生モニター）
		3.自然環境とその保全	112	(1)「開発による自然環境の変貌」；説明パネルのみ
			113	(1)映像「生き物たちのSOS」（自動再生モニター）
			114	(2)「海をこえて持ち込まれた動植物」；外来生物の剥製、複製
		4.自然観察コーナー	115	(1)「自然観察コーナー」；実態顕微鏡、岩石・植物・昆虫標本
考古	沖縄考古学の世界	1.時代をはかるものさし	116	地域対照年表、土器、銃身
			117	「伊礼原E遺跡の土層」；はぎ取り土層（ステージ展示）
			118	(1)「旧石器時代の特徴」、(2)「縄文時代早・前期の特徴」；石器、土器（壁ケース）
			119	(3)「縄文時代中･後期の特徴」；土器、ザル、蝶型骨器（壁ケース）
			120	(4)「縄文時代晩期の特徴」、(5)「弥生から平安時代相当期の特徴」（壁ケース）
			121	(6)「宮古・八重山の特徴」；土器、貝斧、石蒸し料理の復元模型（ステージ展示）
		2.ものと心の痕跡を読む	122	(1)「イネと鉄がもたらしたもの」；炭化米、鉄製品（壁ケース）
			123	(2)「出土した陶磁器」；陶磁器、高麗瓦（壁ケース）
			124	(3)「とむらいの姿」；貝輪、厨子甕、ミャーカ写真（ステージ展示）
			125	(4)「沖縄考古学の現況」；「碇石」（ステージ展示；説明パネルなし）
			126	(4)「沖縄考古学の現況」；線刻石板、南風原町旧日本軍壕出土品（壁ケース）
			127	「沖縄の窯跡」；瓦、やきもの（ステージ展示）
			128	「身の回りの生活道具」；煙管、簪（ステージ展示）

部門	大テーマ	中テーマ	項目番号	展示項目
美術工芸	琉球の美	琉球の絵画と書	129	掛け軸（絵画）、龍頭観音像（壁ケース）
			130	掛け軸（書）、焼締白釉屋根獅子（壁ケース）
		琉球の漆芸と陶器	131	螺鈿（壁ケース）
			132	白密陀図　変盆（ステージ展示）
			133	三線（江戸与那）（ステージ展示）
			134	やきもの（ステージ展示）
		琉球の織と染	135	染織（壁ケース）
			136	「高徳」扁額（壁）
歴史	モノから読む沖縄の歴史	1.那覇港 往来する人とモノ	137	新しゅん那覇江碑文（壁）
			138	(1)「王国の港：那覇港」；鹿児島琉球里程図、「おもろさうし」（壁ケース）
			139	(1)「王国の港：那覇港」；琉球貿易図、首里那覇港図（壁ケース）
			140	(1)画像等「首里那覇港屏風」、「那覇港　海のとびら」（タッチパネル）
			141	(2)「往来する人とモノ」；貿易品の複製、貢布（壁ケース）
			142	(3)「港町の人々」；那覇四町と久米村、鳩目銭（ステージ展示）
		2.地図は語る 琉球国惣絵図	143	間切集成図（壁ケース）
民俗	沖縄の伝統とくらし	1.沖縄の民俗世界	144	(1)「村落をとりまく世界」；集落構造図、写真
			145	(2)「御嶽と神人」；ノロ人形、写真、音響（センサーで開始）
			146	(2)画像等「各地の御嶽」（タッチパネル）
			147	(3)「訪ねくる神々」；ミルク神人形
			148	(3)「訪ねくる神々」；龕、厨子甕、墓模型
		2.沖縄に生きる人々	149	(1)「人の一生」；生年祝い、結納用品
			150	(1)画像「家族の肖像」等（オートスライド）
			151	(2)「ウミのワザ」；サバニ、漁具、写真、図版
			152	(2)映像「ウミのワザ（久高島漁労習俗）」（タッチパネル）
			153	(2)「ウミのワザ」；「糸満女性とイユアチネー（魚商）」 写真、魚模型、音声（センサーで開始）
			154	(3)「アギのワザ」；農具
			155	(3)「アギのワザ」；農作業風景模型「ヘラと掘り串」
			156	(3)「アギのワザ」；農作業風景模型「牛を使う農耕」
			157	(3)「アギのワザ」；農作業風景模型「二つの運搬法」
			158	(3)「アギのワザ」；農作業風景模型「摺り臼を使う」
			159	(3)諸職のワザ；塩づくり
			160	(3)画像等「諸職のワザ」（タッチパネル）
			161	(3)ミニ企画展「三線のすがた」；三線、志多伯開鐘
			162	(4)暮らしに生きる自然素材；クバ笠、ホラ貝のやかん等
		3.家の暮らし	163	(1)「沖縄の住まいと衣・食」；実寸大民家（一番座・二番座）
			164	(1)画像等「シマのくらし　着る、食べる、住む」（タッチパネル）
			165	(1)「沖縄の住まいと衣・食」；実寸大民家（土間・板間）
			166	(2)「年中行事と魔除け」；シャコガイ、スイジガイ
			167	(1)「沖縄の住まいと衣・食」；「火とくらし」、「水とくらし」
		4.変容する民俗	168	(1)「祭り・行事の現在」；火の神用品、生年祝い用品
			169	(1)画像等「シマの祭りと行事」（タッチパネル）
			170	(2)「変わりゆく風景」；「さまざまな祈り」、「さまざまなくらし」

表2. 展示項目ごとの被観覧数、観覧者数、観覧率及び平均滞留時間

項目番号	被観覧数（一回）	観覧者数（人） 総数	性別 男	女	年代別* 10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	観覧率	平均滞留時間（秒）
1	54	52	24	28	7	12	16	9	5	2	1	0.48	62.0
2	9	9	4	5	0	5	2	0	1	0	1	0.08	23.2
3	26	24	12	12	5	5	6	3	5	0	0	0.22	43.8
4	23	22	10	12	3	6	6	4	1	1	1	0.20	136.5
5	59	48	23	25	13	5	15	8	4	1	1	0.44	256.7
6	77	77	39	38	10	14	23	16	10	2	1	0.71	152.9
7	29	29	17	12	2	7	8	4	6	0	1	0.27	20.8
8	64	61	29	32	6	12	18	13	9	2	0	0.56	42.7
9	25	24	14	10	0	7	7	5	4	1	0	0.22	36.0
10	8	8	3	5	1	1	1	1	1	2	0	0.07	126.0
11	29	29	15	14	3	8	7	5	3	1	1	0.27	57.6
12	34	31	15	16	3	6	11	5	5	0	0	0.29	20.9
13	5	5	3	2	0	1	1	2	1	0	0	0.05	95.4
14	19	19	5	14	1	2	4	7	3	1	1	0.18	37.7
15	4	4	2	2	0	0	1	2	0	1	0	0.04	209.3
16	3	3	1	2	1	1	0	0	0	1	0	0.03	100.0
17	38	32	19	13	2	4	10	8	5	2	0	0.30	73.4
18	5	5	3	2	0	1	0	2	1	1	0	0.05	110.6
19	7	6	5	1	0	2	0	1	1	1	0	0.06	84.0
20	16	16	7	9	1	4	5	4	2	0	0	0.15	52.2
21	2	2	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0.02	206.0
22	8	8	4	4	1	1	3	3	0	0	0	0.07	20.5
23	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0.01	11.0
24	27	26	10	16	2	2	10	6	6	0	0	0.24	42.6
25	6	6	4	2	0	1	0	1	1	2	0	0.06	256.4
26	32	30	11	19	1	4	7	9	7	1	0	0.28	25.2
27	5	5	3	2	1	0	2	2	0	0	0	0.05	12.2
28	3	3	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0.03	174.3
29	19	18	9	9	0	3	5	6	4	0	0	0.17	20.5
30	4	4	3	1	0	1	0	1	1	1	0	0.04	69.5
31	17	12	7	5	0	3	4	1	3	0	0	0.11	27.2
32	34	32	17	15	2	4	9	9	5	1	1	0.30	62.4
33	6	6	4	2	0	2	1	2	0	1	0	0.06	120.8
34	16	15	8	7	0	3	6	3	2	1	0	0.14	70.3
35	2	2	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0.02	61.5
36	31	26	16	10	3	6	8	6	1	0	1	0.24	31.6
37	7	7	3	4	1	2	1	1	0	2	0	0.06	158.1
38	7	7	2	5	1	1	1	2	1	1	0	0.06	158.6
39	14	14	9	5	1	2	8	1	1	1	0	0.13	32.3
40	31	29	14	15	1	6	8	7	4	2	0	0.27	32.4
41	35	35	19	16	3	8	14	6	3	1	0	0.32	44.9
42	6	6	3	3	2	1	1	0	0	2	0	0.06	159.2
43	3	3	2	1	1	0	1	0	0	1	0	0.03	32.3
44	26	26	14	12	2	3	8	7	3	1	1	0.24	41.3
45	5	5	1	4	2	0	0	1	1	1	0	0.05	81.4
46	32	31	15	16	3	6	11	5	2	2	1	0.29	64.2
47	5	5	1	4	0	1	1	1	1	1	0	0.05	185.0
48	37	37	25	12	3	11	12	8	1	1	0	0.34	44.8
49	6	6	5	1	1	1	1	2	1	0	0	0.06	49.2
50	15	15	9	6	2	6	5	1	0	1	0	0.14	20.1
51	3	3	2	1	1	1	0	1	0	0	0	0.03	85.3
52	25	24	16	8	2	5	10	6	0	0	0	0.22	55.4
53	5	5	4	1	0	3	2	0	0	0	0	0.05	234.6
54	21	21	15	6	1	4	7	7	1	1	0	0.19	36.7
55	25	24	16	8	4	5	6	5	2	2	0	0.22	87.8
56	4	4	1	3	1	0	1	0	0	2	0	0.04	83.0
57	21	20	9	11	2	4	7	2	3	1	0	0.19	35.4
58	5	5	3	2	3	1	0	0	0	1	0	0.05	88.6
59	18	17	12	5	1	3	9	3	1	0	0	0.16	37.8
60	7	7	4	3	0	1	4	1	0	1	0	0.06	93.6
61	33	28	17	11	2	5	11	5	3	1	0	0.26	43.1
62	18	17	9	8	1	4	5	3	2	1	0	0.16	21.9
63	6	5	2	3	0	0	3	0	1	1	0	0.05	89.2
64	22	20	14	6	1	4	8	5	2	0	0	0.19	38.6
65	2	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0.02	143.5
66	44	44	26	18	9	10	11	7	5	1	0	0.41	73.7
67	7	7	3	4	2	0	1	3	1	0	0	0.06	146.6
68	12	12	8	4	0	1	6	1	4	0	0	0.11	86.7
69	26	24	16	8	2	4	10	3	3	1	0	0.22	51.9
70	2	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0.02	130.0
71	10	10	6	4	0	1	4	1	3	0	0	0.09	25.3
72	28	26	16	10	2	4	13	2	3	2	0	0.24	35.4
73	2	2	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0.02	90.0
74	4	4	2	2	0	1	1	1	1	0	0	0.04	44.7
75	40	40	21	19	6	8	13	9	3	0	0	0.37	55.2
76	27	27	15	12	3	4	10	5	3	1	0	0.25	72.6
77	3	3	0	3	0	0	1	2	0	0	0	0.03	110.3
78	26	25	10	15	2	5	9	3	3	1	1	0.23	37.2
79	4	4	1	3	0	1	1	0	1	1	0	0.04	39.0
80	40	38	18	20	6	7	11	7	5	1	0	0.35	67.8
81	7	7	3	4	4	2	0	1	0	0	0	0.06	44.9
82	2	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0.02	90.0
83	53	51	20	31	11	7	16	8	7	0	1	0.47	75.0
84	9	9	2	7	1	2	3	2	1	0	0	0.08	119.7
85	3	3	1	2	1	1	0	1	0	0	0	0.03	306.7
86	42	40	14	26	6	8	11	6	6	1	1	0.37	102.8
87	54	52	20	32	9	9	19	5	6	2	1	0.48	74.9
88	35	34	12	22	8	4	9	5	6	1	1	0.31	41.3
89	4	4	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0.04	41.0
90	29	29	12	17	7	5	8	4	2	1	1	0.27	48.9
91	12	12	3	9	2	1	3	3	3	0	0	0.11	86.1
92	11	11	5	6	2	1	3	1	1	1	1	0.10	18.5
93	3	3	2	1	0	2	0	0	0	1	0	0.03	115.3
94	11	11	5	6	1	4	3	2	1	0	0	0.10	94.5
95	8	7	2	5	0	0	4	1	0	1	0	0.06	118.6
96	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0.01	64.0
97	21	21	11	10	2	4	7	3	4	1	0	0.19	35.5
98	3	3	2	1	0	2	1	0	0	0	0	0.03	74.0
99	23	23	14	9	4	4	5	6	3	1	0	0.21	28.1
100	14	14	6	8	3	6	1	3	0	0	1	0.13	78.6
101	4	4	3	1	1	2	1	0	0	0	0	0.04	62.3
102	7	7	3	4	0	1	3	1	1	1	0	0.06	21.9
103	47	46	21	25	8	10	10	10	6	1	1	0.43	41.5
104	27	25	10	15	3	5	8	6	2	0	0	0.23	36.7
105	25	25	9	16	2	2	11	3	5	1	1	0.23	59.8
106	11	11	6	5	0	2	5	2	1	1	0	0.10	25.8
107	18	18	7	11	2	3	6	2	3	1	0	0.17	57.9
108	39	38	18	20	4	7	12	6	7	1	1	0.35	28.7
109	7	7	6	1	2	2	2	0	0	1	0	0.06	8.3
110	11	11	8	3	1	2	3	2	2	0	0	0.10	29.8
111	14	14	6	8	1	3	2	2	3	1	1	0.13	31.1
112	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0.01	10.0
113	9	9	3	6	1	2	3	0	0	1	1	0.08	49.3
114	43	41	22	19	6	4	16	7	6	1	1	0.38	42.6
115	39	38	18	20	7	6	10	5	7	2	1	0.35	110.5
116	27	26	12	14	1	6	7	6	4	1	0	0.24	35.4
117	8	8	3	5	1	2	3	2	0	0	0	0.07	21.0
118	19	19	8	11	2	3	7	1	5	1	0	0.18	78.3
119	21	20	11	9	3	4	7	2	3	1	0	0.19	59.2
120	18	18	7	11	2	3	8	2	2	1	0	0.17	63.9
121	22	21	8	13	3	3	4	3	6	2	0	0.19	40.8
122	22	22	13	9	3	3	7	4	3	1	0	0.20	45.6
123	20	20	12	8	1	3	6	5	3	1	0	0.19	42.0
124	23	23	12	11	1	4	8	4	5	1	0	0.21	63.0
125	4	4	2	2	0	2	1	1	0	0	0	0.04	19.3
126	25	25	13	12	3	6	6	5	4	1	0	0.23	75.4
127	6	6	3	3	0	1	2	1	1	1	0	0.06	13.2
128	26	26	13	13	0	8	8	4	4	1	0	0.24	30.0
129	18	18	9	9	0	3	8	2	3	1	0	0.17	44.0
130	18	18	8	10	3	3	6	2	4	0	0	0.17	24.7
131	15	15	6	9	0	3	7	1	3	1	0	0.14	33.6
132	12	12	6	6	0	0	6	2	3	1	0	0.11	19.3
133	10	10	4	6	0	2	3	1	4	0	0	0.09	16.7
134	12	12	4	8	0	0	6	1	4	1	0	0.11	19.8
135	23	23	8	15	1	3	8	3	6	2	0	0.21	35.4
136	14	14	6	8	0	1	6	3	3	1	0	0.13	38.6
137	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0.01	38.0
138	10	10	3	7	0	2	5	2	1	0	0	0.09	50.2
139	15	15	7	8	1	2	6	2	4	0	0	0.14	17.4
140	6	6	2	4	3	0	2	0	0	1	0	0.06	140.0
141	12	12	3	9	1	1	3	2	5	0	0	0.11	32.5
142	6	6	2	4	0	2	1	1	2	0	0	0.06	35.7
143	6	6	4	2	1	2	2	1	0	0	0	0.06	46.7
144	15	15	5	10	0	2	8	2	1	1	0	0.14	20.9
145	39	39	16	23	6	6	15	3	5	3	0	0.36	34.9
146	9	9	3	6	1	3	2	0	1	2	0	0.08	111.7
147	28	27	11	16	1	5	10	5	4	2	0	0.25	28.9
148	31	31	15	16	3	6	11	6	3	1	0	0.29	41.5
149	43	43	17	26	6	5	13	10	7	1	0	0.40	34.0
150	4	4	3	1	0	2	0	1	0	0	0	0.04	14.8
151	31	28	15	13	2	7	7	7	5	0	0	0.26	25.6
152	7	7	2	5	3	0	1	2	1	0	0	0.06	89.3
153	35	33	19	14	6	7	9	6	5	0	0	0.31	27.9
154	10	9	4	5	0	0	4	3	2	0	0	0.08	27.5
155	12	12	6	6	1	3	2	4	1	1	0	0.11	31.7
156	8	8	5	3	1	2	2	2	0	1	0	0.07	30.9
157	15	15	8	7	2	3	4	3	1	1	0	0.14	11.5
158	7	7	5	2	1	2	2	1	1	0	0	0.06	26.4
159	13	13	9	4	2	4	3	2	1	1	0	0.12	24.6
160	2	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0.02	57.0
161	20	20	12	8	4	4	4	4	3	1	0	0.19	26.5
162	11	11	6	5	2	1	4	2	1	1	0	0.10	18.8
163	45	44	22	22	7	8	10	10	7	1	0	0.41	54.3
164	8	8	5	3	2	1	1	3	1	0	0	0.07	131.0
165	30	29	15	14	6	6	9	7	0	1	0	0.27	41.5
166	6	6	4	2	0	2	3	0	0	1	0	0.06	28.7
167	12	12	8	4	1	4	4	1	1	1	0	0.11	27.5
168	22	21	11	10	2	7	6	1	4	1	0	0.19	42.5
169	5	5	2	3	2	0	2	0	0	0	0	0.05	188.8
170	16	16	3	13	1	3	5	1	6	0	0	0.15	54.4
平均	17.7	17.2	8.5	8.7	2.0	3.2	5.3	3.1	2.3	0.8	0.2	0.20	64.7
人数計		108	53	55	19	20	32	18	13	4	1		

* 年代不明の観覧者1人あり

結　果

項目ごとの被観覧数（回）、観覧者数、観覧率（観覧者数÷入場者数）及び平均滞留時間を表２に示す。108人の入場者による観覧において、1項目あたりの平均観覧者数は17.2人（n=170）、平均被観覧数は17.7回（n=170）、項目ごとの平均滞留時間の平均は64.7秒（n=170）であった。入場者の常設展示室における平均滞在時間は50.3分（n=106）であり、観覧した平均項目数は27.9（n=108）であった。

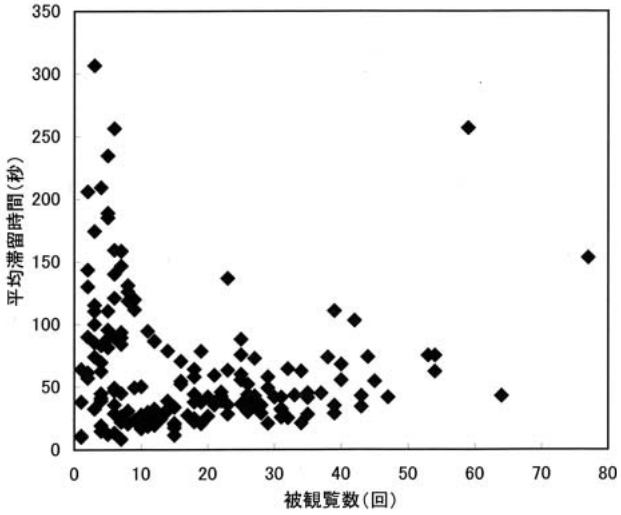

図1．展示項目の被観覧数と平均滞留時間の関係

項目の被観覧回数と平均滞留時間の関係を図１に示す。グラフ右上に離れて存在する2点は「シマの自然とくらし；映像タッチパネル」（項目5、被観覧数59、平均滞留時間256.7秒）と「化石が語る沖縄；大型円筒形スクリーン映像自動再生」（項目6、被観覧数77、平均滞留時間152.9秒）である。この2点以外は、滞留時間の上限は被観覧数が少ない項目で大きく、被観覧数が多くなるに従って小さくなる傾向がある。

観覧率の高かった項目と低かった項目をそれぞれ観覧率の降順、昇順で表３、表４に示す。観覧率が0.50を超えた項目は「化石が語る沖縄；化石、琉球石灰岩、大型円筒形スクリーン自動再生映像」（項目6）と「古我知原貝塚の世界」（項目8）の2項目のみであった。これらに次いで、観覧率が0.30～0.49と比較的高かった項目は21件あり、それらを主たる展示形式別に見ると、「サンゴ礁及び海岸のジオラマ」（項目1）等ジオラマが5件と最も多く、次いで「イリオモテヤマネコ剥製等」（項目86）等動物の剥製・標本類と「薩摩による侵攻と琉球支配、北京への琉球使節古文書、絵画」（項目32）等平面資料を中心とするものがそれぞれ4件である。さらに「基地と復興；アメリカ統治下のオキナワ」（項目66）等操作式の展示、「地質年表、地質図、化石、沖縄の岩石」（項目75）等の立体資料、「港川人復元模型等」（項目103）等人形模型が各2件、魚売りの声の自動再生装置と大型写真・魚類模型のセットによる展示「糸満女性とイユアチネー（魚商）」（項目153）とタッチパネル6台からなる「琉球列島地形模型；映像端末『シマの自然とくらし』」（項目5）各1件であった。逆に、観覧率が0.1未満の項目は70件あり、そのうち44件をタッチパネル形式の展示が占めた。観覧者0の項目はなかったが、「奉使琉球図；タッチパネル」（項目23）、「マングローブの動植物；タッチパネル」（項目96）、「開発による自然環境の変貌」（項目112）、「新しゅん那覇江碑文」（項目137）の4項目は観覧者が1人のみで

表3．観覧率の高い展示項目

項目番号	主たる展示形式・内容	観覧率	観覧者数	平均滞留時間（秒）
6	自動再生モニター；「港川人」等	0.71	77	152.9
8	その他立体資料；遺跡出土資料	0.56	61	42.7
1	ジオラマ；サンゴ礁及び海岸	0.48	52	62.0
87	生物標本等立体資料；ほ乳類剥製等	0.48	52	74.9
83	ジオラマ；ヤンバルの森（夜）	0.47	51	75.0
5	タッチパネル；画像等「シマの自然とくらし」	0.44	48	256.7
103	人形模型；港川人復元模型等	0.43	46	41.5
66	操作式展示；LPレコード等	0.41	44	73.7
163	ジオラマ；実寸大民家（一番座・二番座）	0.41	44	54.3
149	その他立体資料；結納用品等	0.40	43	34.0
114	生物標本等立体資料；外来生物剥製等	0.38	41	42.6
75	その他立体資料；化石・岩石	0.37	40	55.2
86	生物標本等立体資料；イリオモテヤマネコ剥製等	0.37	40	102.8
145	人形模型；ノロ人形復元模型等	0.36	39	34.9
80	ジオラマ；ヤンバルの森（昼）	0.35	38	67.8
108	生物標本等立体資料；アカウミガメ剥製等	0.35	38	28.7
115	操作式展示；実態顕微鏡等	0.35	38	110.5
48	文書等平面資料；『球陽』等	0.34	37	44.8
41	文書等平面資料；家譜等	0.32	35	44.9
88	ジオラマ；宮古島の森	0.31	34	41.3
153	音声自動再生；「糸満女性とイユアチネー（魚商）」	0.31	33	27.9
17	文書等平面資料；尚氏系統パネル等	0.30	32	73.4
32	文書等平面資料；絵画等	0.30	32	62.4

あった。

項目ごとの滞留時間とその頻度をそれぞれ4段階に区分して図２に示す。滞留時間は11秒～1分の段階の頻度がもっとも大きい。6分1秒以上の滞留時間が見られた項目は32件あったが、そのうち被観覧回数が11回以上であったのは、「シマの自然とくらし;映像タッチパネル」（項目5）のみであり、それ以外は全て10回以下の観覧であった。滞留時間が1分1秒～6分で、被観覧回数が11回以上の項目は13件あり、そのうち12件は表３にあげられた観覧率0.3以上の項目であるが、「琉球列島地形模型;押しボタンによる映像投影」(項目4)のみは観覧率が0.2の項目である。すべての滞留時間が11秒以上の項目は34件あり、そのうち29件はタッチパネル形式の展示であった。

映像等の再生を伴う27件の項目について、再生時間と観覧者の滞留時間の関係を示したのが表５である。総計245回の観覧において、滞留時間がこれを上回ったのは35回であった。また、すべての観覧において滞留時間が、再生時間より短かい項目が12件あった。

考　察

2009年度に同一の展示について行った調査(濱口、2010）と比較すると、常設展示室の平均滞在時間は2009年の52.7分（n＝120）に対し、今回は50.3分(n＝106）と近い値である。しかし、平均観覧項目数については11.6（n＝112）に対し27.9（n＝108)、平均滞留時間については147.0秒（n＝129）に対し64.7秒（n＝170）となっており、観覧項目は多く滞留時間は短くなっている。今回の調査では、１秒以上項目の前に停止していたものについて記録をとることを徹底したのに対し、昨年度は何秒の停止からを観覧とみなすか観察者個々の判断によったため、滞留時間の極端に短い観覧について記録漏れを生じ、このような違いになったと考えている。

各項目の被観覧回数と平均滞留時間の関係をみると、滞留時間の上限は被観覧回数が少ない項目で大きい。これは、濱口（2010）がいうように、「観覧者は少数であるがじっくり見られている展示項目」があるためであると考える。ただ、図２に示されている結果からは、そのような少数派だけが好む特定の展示があるということではなさそうである。多くの人が観覧している項目では、じっくり見ている少数の人たちがいると同時に滞留時間の短い観覧者が多数いるため、平均値が小さくなっているものと考えられる。これに対し、観覧者の少ない項目では、平均値に対する個々のデータの影響が大きいためバラツキが大きくなるのだろう。

常設展示の中で、入場者の半数以上が観覧したのは「化石が語る沖縄；化石、琉球石灰岩、大型円筒形スクリーン;自動再生映像」（項目６）と「古我知原貝塚の世界」(壁ケース;項目８)の２件のみであった。これらは、入り口からプロローグを通って直進した場合の最初の項目と総合展示室内の最初の壁ケース展示である。当館の総合展示室は広く見通しの良い空間であって、動線を強制するような構造になっていないため入場者の観覧経路は極めて多様であるが（濱口、2010)、この２項目までは共通の経路をたどる人が多いということであろう。

その他で観覧率が比較的高かった21件の項目には、ジオラマ、動物の剥製等、人形復元模型が11件含まれている。観覧者は動線に関わりなく目についた展示物の方に向かう性質があるといわれているが(山脇、1996；竹内、2004；藍野、2006)、“目につく”とはその展示物の性質がおおむね把握でき面白そうだと感じることであろう。ジオラマ等の展示は、当該資料に関する知識があまり豊富でない観覧者であっても、そして解説文を読まずとも、その人なりに“どんな類もの”かは認識できるものであるため、一見したときに興味を引きやすいと思われる。森田(1974)、飯塚（1978）及び恒吉（1984）は若年層の入館者がジオラマを好むことを報告しているが、それはジオラマが観覧者に予備知識を強く求めないことを示している。その一方で、「（１）繁栄への布石　第一尚氏、（２）王統の交代　第二尚氏、（３）冊封と進貢」(項目17) 等文書中心の項目が４件入っていた。平面資料の注目されにくいこと（竹内、2004など）を考えると、これらは健闘しているといえよう。総合展示室では４辺の壁ケースに沿って沖縄の通史を展示しているが、これら４件はいずれもその中の「中テーマ」の先頭に配置されているものである。特に、項目17は沖縄の歴史の中でも重要な位置を占める琉球王国の成立に係る内容を展示しているもので、平均滞留時間も文書等平面資料主体の項目

表4．観覧率の低い展示項目

項目番号	主たる展示形式・内容	観覧率	観覧者数	平均滞留時間（秒）
23	タッチパネル；画像等「奉使琉球図」	0.01	1	11.0
96	タッチパネル；画像等「マングローブの動植物」	0.01	1	64.0
112	文書等平面資料；「開発による自然環境の変貌」解説パネル	0.01	1	10.0
137	その他立体資料；石碑	0.01	1	38.0
21	タッチパネル；画像等「進貢貿易」	0.02	2	206.0
35	タッチパネル；画像等「江戸上り」	0.02	2	61.5
65	タッチパネル；画像等「アメリカ統治と住民の反応」	0.02	2	143.5
70	タッチパネル；画像等「米軍基地と事件事故」等	0.02	2	130.0
73	タッチパネル；画像等「写真検索」	0.02	2	90.0
82	自動再生モニター；映像「鳥類の生態」	0.02	2	90.0
160	タッチパネル；画像等「諸職のワザ」	0.02	2	57.0
16	タッチパネル；映像「首里城とその周辺」	0.03	3	100.0
28	タッチパネル；画像等「『おもろさうし』の世界」	0.03	3	174.3
43	タッチパネル；映像「改革の時代　羽地朝秀と蔡温」	0.03	3	32.3
51	タッチパネル；映像「ペリーが見た琉球」等	0.03	3	85.3
77	タッチパネル；画像等「花粉化石」	0.03	3	110.3
85	タッチパネル；映像「イモリ・カエルの繁殖生態」	0.03	3	306.7
93	生物標本等立体資料；アイフィンガーガエル生態模型	0.03	3	115.3
98	タッチパネル；画像等「固有および分布北限・南限の動植物」	0.03	3	74.0
15	タッチパネル；映像「浦添の王たち」等	0.04	4	209.3
30	タッチパネル；画像等「那覇・首里の変遷」	0.04	4	69.5
56	タッチパネル；画像等「交通網の広がりと交通機関の発達」等	0.04	4	83.0
74	自動再生モニター；映像「変わりゆく島々の自然」	0.04	4	44.7
79	自動再生モニター；映像「琉球石灰岩になった海の生き物たち」	0.04	4	39.0
89	タッチパネル；画像等「宮古島の動植物」	0.04	4	41.0
101	タッチパネル；映像「オキナワキノボリトカゲの社会行動」	0.04	4	62.3
125	その他立体資料；碇石	0.04	4	19.3
150	オートスライド；画像「家族の肖像」等	0.04	4	14.8
13	タッチパネル；画像等「島々のグスク」	0.05	5	95.4
18	タッチパネル；画像等「歴代国王の御後絵」	0.05	5	110.6
27	文書等平面資料；『おもろさうし』（複製）	0.05	5	12.2
45	タッチパネル；画像等「奄美のくらし」	0.05	5	81.4
47	タッチパネル；映像「昆布」等	0.05	5	185.0
53	タッチパネル；画像等「琉球処分」	0.05	5	234.6
58	タッチパネル；画像等「海を渡るウチナーンチュ」	0.05	5	88.6
63	自動再生モニター；映像「収容所生活の写真映像」、音声「屋嘉節」	0.05	5	89.2
169	タッチパネル；画像等「シマの祭りと行事」	0.05	5	188.8
19	タッチパネル；画像等「冊封使行列」	0.06	6	84.0
25	タッチパネル；映像「護佐丸・阿麻和利の乱」等	0.06	6	256.4
33	タッチパネル；映像「薩摩による琉球侵攻」	0.06	6	120.8
42	タッチパネル；画像等「絵地図が語る近世」	0.06	6	159.2
49	タッチパネル；画像等「災害と困窮する人々」	0.06	6	49.2
127	その他立体資料；瓦、やきもの	0.06	6	13.2
140	タッチパネル；画像等「首里那覇港屏風」等	0.06	6	140.0
142	文書等平面資料；古地図等	0.06	6	35.7
143	文書等平面資料；古地図	0.06	6	46.7
166	その他立体資料；魔よけシャコガイ等	0.06	6	28.7
37	タッチパネル；映像「江戸から見た琉球」	0.06	7	158.1
38	タッチパネル；映像「組踊と狂言」等	0.06	7	158.6
60	タッチパネル；映像「沖縄戦」	0.06	7	93.6
67	タッチパネル；映像「沖縄の戦後教育」等	0.06	7	146.6
81	タッチパネル；画像等「沖縄島北部の動植物」	0.06	7	44.9
95	タッチパネル；映像「マングローブに生きる」	0.06	7	118.6
102	ジオラマ；アカヒゲ生態	0.06	7	21.9
109	生物標本等立体資料；アサギマダラ標本等	0.06	7	8.3
152	タッチパネル；映像「ウミのワザ（久高島漁労習俗）」	0.06	7	89.3
158	その他立体資料；農作業風景模型	0.06	7	26.4
10	タッチパネル；映像「島々を行き交う人とモノ」	0.07	8	126.0
22	文書等平面資料；奉使琉球図等	0.07	8	20.5
117	その他立体資料；伊礼原B遺跡剥ぎ取り土層	0.07	8	21.0
156	その他立体資料；農作業風景模型	0.07	8	30.9
164	タッチパネル；画像等「シマのくらし着る、食べる、住む」	0.07	8	131.0
2	生物標本等立体資料；サンゴの骨格等	0.08	9	23.2
84	タッチパネル；映像「ヤンバルオオフトミミズ」	0.08	9	119.7
113	自動再生モニター；映像「生き物たちのSOS」	0.08	9	49.3
146	タッチパネル；画像等「各地の御嶽」	0.08	9	111.7
154	その他立体資料；農具	0.08	9	27.5
71	文書等平面資料；沖縄県系移民分布図等	0.09	10	25.3
133	その他立体資料；三線（江戸与那）	0.09	10	16.7
138	文書等平面資料；鹿児島琉球里程図等	0.09	10	50.2

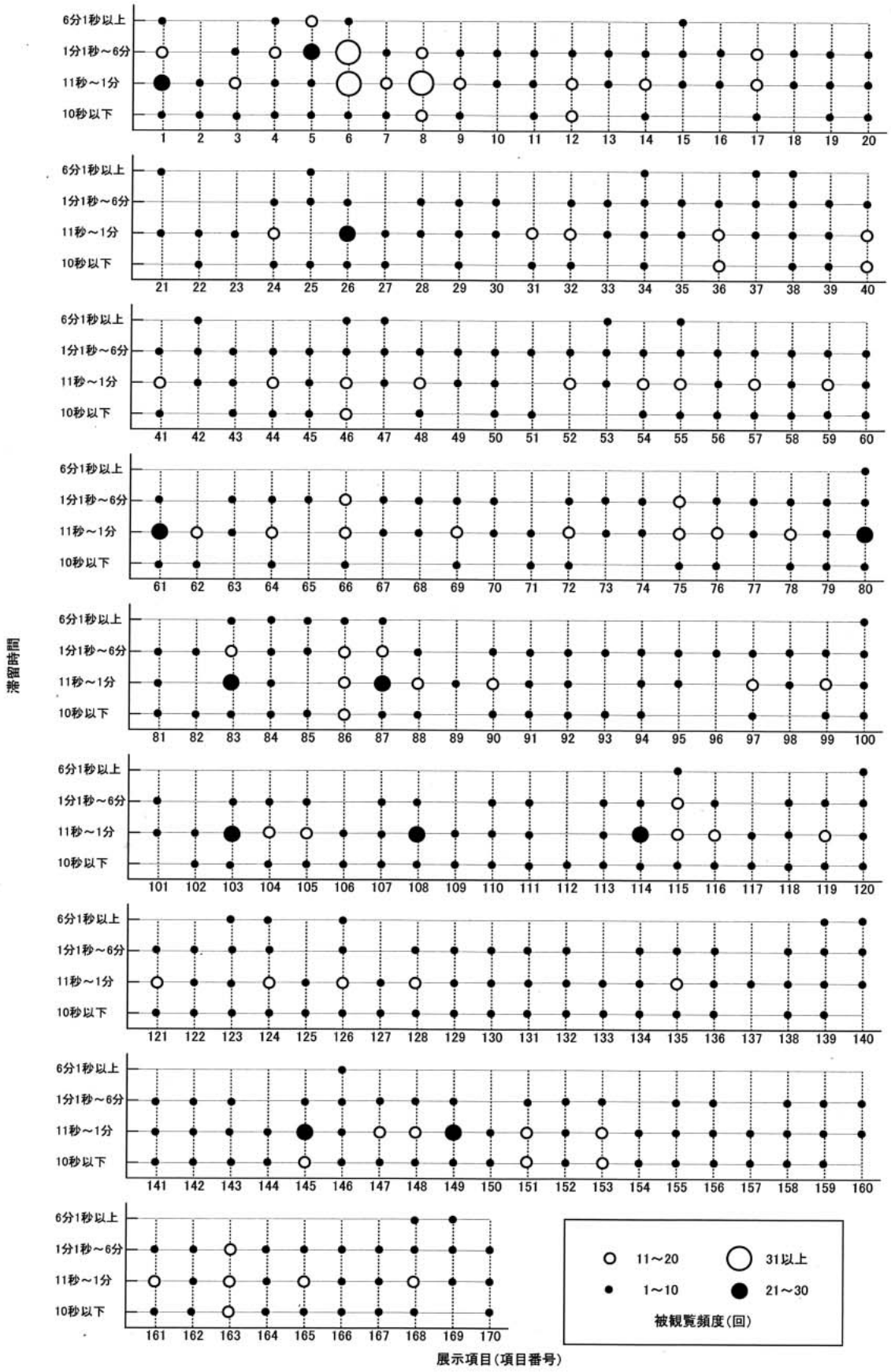

図2. 展示項目ごとの滞留時間の頻度分布

表5．映像等を伴う展示項目の再生時間と観覧者の滞留時間の関係

項目番号	部門・テーマ	映像等の内容・タイトル	形式	映像等の再生時間（秒）	平均滞留時間（秒）	被観覧回数（n）		
						総数	映像等の時間≦滞留時間	映像等の時間＞滞留時間
6	総合1-1「化石が語る沖縄」	『琉球列島の成り立ちと生物の進化』『港川人』『海からの贈り物』	自動再生（大型円筒形スクリーン）	465	152.9	77	9	68
10	総合1-3「島々を行き交う人とモノ」	『島々を行き交う人とモノ』	タッチパネル	189	126.0	8	2	6
15	総合2-1「島々に見られるグスク」	『浦添の王たち』『三山の朝貢と琉球統一』『三山の成立』	タッチパネル	567	209.3	4	0	4
16	総合2-1「島々に見られるグスク」	『首里城とその周辺』	タッチパネル	189	100.0	3	1	2
25	総合3-1「統一王朝の時代」	『護佐丸・阿麻和利の乱』『宮古・八重山諸島のすがた』	タッチパネル	378	256.4	5	2	3
33	総合4-1薩摩の支配と琉球使節」	『薩摩による琉球侵攻』	タッチパネル	189	120.8	6	2	4
37	総合4-2「近世琉球の文化」	『江戸から見た琉球』	タッチパネル	187	158.1	7	3	4
38	総合4-2「近世琉球の文化」	『組踊と狂言』、『三線の響き』	タッチパネル	376	158.6	7	2	5
43	総合4-3「王府と民衆」	『改革の時代　羽地朝秀と蔡温』	タッチパネル	189	32.3	3	0	3
47	総合4-3「王府と民衆」	『昆布』『黒糖とウコン』	タッチパネル	372	185.0	5	2	3
51	総合5-1「王国の末期」	『ペリーが見た琉球』『異国人のあしあと』	タッチパネル	377	85.3	3	0	3
53	総合6-1「近代のはじまり」	『琉球処分』	タッチパネル	188	234.6	5	1	4
55	総合6-2「沖縄県の形成」	「琉球から沖縄へ」；『整備される交通網』	押しボタン（軽便鉄道ジオラマ付属のモニター）	318	87.8	25	1	24
60	総合6-3「日清戦争からアジア太平洋戦争」	『沖縄戦』	タッチパネル	189	93.6	7	2	5
63	総合7-1「変貌する沖縄」	「ゼロからの出発」；『収容所生活の映像』（無声映像）、『屋嘉節』（音声）	自動再生（モニターの動画と演奏の同時再生）	350	89.2	6	0	6
67	総合7-1「変貌する沖縄」	「アメリカ統治下のオキナワ」；『沖縄の戦後教育』『文化財の復興』『博物館の歩み』	タッチパネル	565	146.6	7	0	7
74	総合8-1「エピローグ；沖縄の実像」	「島々の自然と環境」；『変わりゆく島々の自然』	自動再生（モニター）	182	44.7	3	0	3
79	自然史1「島々の成り立ちと生物相の形成」	『琉球石灰岩になった海の生き物たち』	自動再生（モニター）	183	39.0	4	0	4
82	自然史1「島々の成り立ちと生物相の形成」	『鳥類の生態』	自動再生（モニター）	183	90.0	2	0	2
84	自然史1「島々の成り立ちと生物相の形成」	『ヤンバルオオフトミミズ』	タッチパネル	100	119.7	9	3	6
85	自然史1「島々の成り立ちと生物相の形成」	『イモリ・カエルの繁殖生態』	タッチパネル	380	306.7	3	1	2
95	自然史1「島々の成り立ちと生物相の形成」	『マングローブに生きる』	タッチパネル	189	118.6	8	2	6
101	自然史1「島々の成り立ちと生物相の形成」	『オキナワキノボリトカゲの社会行動』	タッチパネル	179	62.3	4	0	4
111	自然史2「生物の移動」	『オカガニの一斉放幼』	自動再生（モニター）	184	31.1	14	0	14
113	自然史3「自然環境とその保全」	『生き物たちのSOS』	自動再生（モニター）	184	49.3	9	0	9
150	民俗2「沖縄に生きる人々」	『家族の肖像』等（無声静止画像）	オートスライド	187	14.8	4	0	4
152	民俗2「沖縄に生きる人々」	『ウミのワザ（久高島漁労習俗）』	タッチパネル	188	89.3	7	2	5
					計	245	35	210

全体の平均42.4秒（n＝23）に比べ73.4秒と長くなっている。歴史分野の文書類については資料そのものを見て意味を読み取ることのできる観覧者は少なく、担当学芸員は展示方法に苦労するところである（村上、1978；1979；1980；一瀬、1997；樋口、2007）。当館の常設展において、これらの展示が観覧率の高い項目に入っているということは、入場者の中に琉球王国に関心を持って来ている人たちが少なからずいる事を示しているのかもしれない。

観覧率の低い項目70件の中に、タッチパネル式の展示が44件、映像の自動再生やオートスライドもあわせると50件含まれていた。タッチパネルについては、博物館にとって有効な装置であるという報告（野村ら、1993；森越ら、1994；吉村、1995など）を数多く目にするうえに、当館常設展示室においても入場者がよく利用している印象を持っていたので意外な結果であった。タッチパネルの中では「シマの自然とくらし」（項目５）は観覧率が例外的に高く、滞留時間も256.7秒と平均を大きく上回っている。日頃の印象は、展示室中央に配置されたこの端末の状況を見てタッチパネル全体がよく利用されていると錯覚したところから来たものらしい。ただ、博物館展示の主体はモノ資料であり（村上、1978；1979；1980）、博物館を人が訪れる理由もそこにあると考えられる（榊原、1980）。補助装置としての情報端末は本来その内容に関心を持った観覧者が詳細な情報を得たい場合に使えばよいのであって、これらの観覧率が小さいこと自体はそれほど問題ではないだろう。一方、映像等を伴うタッチパネル式の項目に係る再生時間と滞留時間の関係から、最初から最後まで見ているケースは多くないと考えられる。このことは改善を検討すべき課題である。自動再生モニターのものも含め、当館の展示映像は３分強の長さを単位として作成されているものが多いが、再生時間の予告がないために観覧者の見る意欲が持続していない可能性がある。また、３分という時間自体が長すぎるのかもしれない。

タッチパネル等情報端末以外で、観覧率の低かった項目を形式別に見ると、文書やパネル等平面資料を中心とするもの７件、ジオラマ･生物標本等４件、その他立体資料９件となっている。ジオラマや生物標本等は一般的には人気があるが、この４件については配置上の問題もあると考えている。「サンゴの骨格等」（項目２）は入り口から項目６へ向かう主要動線の側壁裏側に位置する。また、「アカヒゲ生態」（項目102）・「アサギマダラ標本等」（項目109）と「アイフィンガーガエル生態模型」（項目93）は、それぞれ近くに「アカウミガメ剥製等」（項目108）と「宮古の森」（項目88）という高観覧率の項目がある。竹内（2004）は、注目度の高い展示物の周囲にあるものは、それとは反対に注意を引きにくい傾向があると述べている。榊原（2008a）は、展示自体の価値と観覧者に目をとめさせる誘因性を区別して考えており、誘因性を発揮するためには感情的情報である“面白さ”が必須条件であると述べている。観覧率の低かった項目に関しては、入場者にそのようなアピールができているか検討する必要があるだろう。さらに、滞留時間の短さも重なっている項目に関しては、観覧者に伝えようとしている情報自体の価値を高めるような工夫・手直し等をしなければならない。

今回の調査において、項目の平均滞留時間は64.7秒であった。江水・大原（2006）は「江戸東京たてもの園」の「八王子千人同心の家」において、また恒吉（1984）は鹿児島県立博物館自然史総合展示室において、それぞれ観覧時の滞留時間を測定しており、観覧対象あたりの平均値を求めると前者は58.7秒、後者は44.8秒となる。展示物の形状内容や観覧対象の単位が異なるので単純な比較はできないが、今回の結果と値が近いことは興味深い。野村ら（1993）は府中市郷土の森博物館、たばこと塩の博物館、東京都写真美術館及び八王子こども科学館の４館において同様の調査を行い、展示品１点あたりの観覧時間をそれぞれ1.2秒、3.4秒、14.8秒及び41.0秒と報告している。そして、平均観覧時間が１～数秒であることについて、「知識や感動を得、かつ展示全体を通して体系的な知見を学習・体験することを目的とする展示としては、十分な観覧時間といえるかどうか疑問」と述べた。この場合の平均観覧時間は、総観覧時間を全展示品数で除したものであり、観覧しなかった項目も含めての平均になっている。そのため、展示品ごとの観覧時間が小さくなっており、その傾向は展示品の多い府中市郷土の森博物館とたばこと塩の博物館の２館において顕著になっているものと考えられる。それにしても、当館の64.7秒という時

間が十分な観覧時間といえるのかどうか、同様の疑問は感じる。観覧者の満足度は、展示から受け取る「内的報酬」（榊原、2008b）、や知的快感（杉浦、1997）に左右され、それがリピーターとなるか二度と来なくなるかにつながっていくと考えられる。入場者が64.7秒の滞留時間で当館の項目から十分な対価（情報と感動）を得ているか否か、そうでない場合、滞留時間の延長をめざせばよいのかあるいは発信する情報自体の見直しをすべきなのか、観覧者の得ているものの把握方法も含め今後の課題である。

謝　辞

本調査に関して、データ採取及び当館常設展示の改善案についてレポートを提出してくれた下記の学芸員実習生の皆さんに感謝します。

前期；有馬雄大、金城唯仁、大城いずみ、大城博義、澤田健吾、平良渉、渡久地花英手、當山ちひろ、浦崎直規

後期；赤嶺祐作、呉屋るり葉、比嘉しおり、池間美沙樹、伊佐尚磯、久貝祐子、丸山未紗貴、宮城久俊、宮里知恵、仲宗根めぐみ、野原晴菜、小針由紀、山田麻紀子

引用文献

阿部裕紀子・船木信一・渡部均．2005．リニューアルに伴う展示構成，I．自然展示室．秋田県立博物館研究報告　第30号：5-18.

藍野かおり．2006．新潟市歴史博物館の常設展示と来館者の展示観覧．新潟市歴史博物館研究紀要　第2号：19-32.

江水是仁・大原一興．2006．屋外展示民家における興味が異なる観覧者の観覧行動に関する研究―温暖期における江戸東京たてもの園・八王子千人同心組頭の家の事例―．博物館学雑誌　第32巻：13-43.

船木信一．2004．リニューアル展示における動物標本の展示手法について．秋田県立博物館研究報告　第29号：17-24.

濱口寿夫．2010．博物館常設展示における入場者の観覧行動．沖縄県立博物館・美術館，博物館紀要　第3号：101-110.

樋口政則．2007．博物館展示と文字．國學院大學博物館學紀要　第32輯：113-121.

一瀬和夫．1997．博物館展示と歴史教育．関西大学博物館紀要　第3号：241-253.

井出口龍哉．1998．博物館常設展の展示更新．鹿児島県立博物館研究報告　第17号：55-66.

飯塚好．1978．昭和51年度アンケート調査― II，一般入館者アンケート．埼玉県立博物館紀要　第4号：59-62.

三木美裕．1999．博物館・美術館の来館者研究―アメリカの事例から―．国立民族学博物館研究報告．第24巻：633-701.

森田恒之．1974．博物館は何を求められているのか―昭和48年度博物館フレンドのアンケートから―．埼玉県立博物館紀要　第1号：2-10.

森越康晴・鈴木賢一・清水裕之・柳澤忠．1994．博物館展示空間の環境評価に関する研究．日本建築学会大会学術講演梗概集（東海）：621-622.

村上義彦．1978．歴史展示の実際と展望．埼玉県立博物館紀要　第4号：2-19.

村上義彦．1979．歴史展示の実際と展望(2)．埼玉県立博物館紀要　第5号：2-11.

村上義彦．1980．歴史展示の実際と展望(3)．埼玉県立博物館紀要　第6号：2-14.

長澤一雄．1987．第四紀常設展示の一部展示替えについて．山形県立博物館研究報告　第8号：1-8.

二階堂実・西口由子・井上かおり．2008．常設展示改修事業および「ゆめ・体験ひろば」設置事業の記録．埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要　第2号：1-36.

野村東太・大原一興・朴光範・小川英彦・真銅博司・西宮浩司．1993．博物館の展示・解説が来館者行為に与える影響、博物館に関する建築計画的研究 V，日本建築学会計画系論文報告集　第445号：73-81.

榊原聖文．1980．展示形態論及び展示品の概念について．博物館雑誌　第5巻：1-12.

榊原聖文. 2008a. 博物館における展示とその要素、及び評価と還元のシステム的関係について（I,II）．博物館雑誌　第33巻：21-48.

榊原聖文. 2008b. 博物館における展示とその要素、及び評価と還元のシステム的関係について（III,IV）．博物館雑誌　第34巻：23-49.

杉浦透．1997．展示学試論．広島市交通科学館研究紀要　第2号：23-27．
竹内有理．2004．展示室における観客の観覧行動と記憶および理解に関する研究．国立歴史民俗博物館研究報告　第109集：339-358．
恒吉正巳．1984．博物館における見学者の動線調査．鹿児島県立博物館研究報告　第3号：49-56．
山脇一幸．1996．企画展示における動線についての一考察．広島市交通科学館研究紀要　第1号：27-29．
吉村光敏．1995．展示の評価―動線調査の事例報告．博物館研究　第30巻：14-18．